

11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	ゴルフ場（経営者）	来客数の動き	・前年同月に比べ、単価を下げて集客したことにより来客数は増加している。
	やや良く なっている	百貨店（担当者）	来客数の動き	・2月においても1月中旬以降の来客数増加傾向を店舗全体において維持している。特に主力の衣料品において前月比で4%ほど買上客数が増加しており、結果として店舗全体においても相乗効果が出た形となっている。特に天候と気温が安定したことにより冬物衣料の処分が順調に進んだこと、春物衣料においても2月に入り好調に推移したことなどが主な要因となっている。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・飲物類や珍味、惣菜などが売れている。
		その他専門店 〔楽器〕（経営者）	来客数の動き	・郊外の新規大型ショッピングセンターや新設モノレールなどの効果も落ち着いてきており、大きな変化はなく安定している。思ったよりも商店街への観光客の来客数も順調であり、前年同月に比べて売上も増加している。しかし、地元客への売上は減少気味である。
		その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	来客数の動き	・牛肉の輸入禁止や鳥インフルエンザなどの影響で、店の原価が圧迫されているが、来客数は前年比113%で推移している。
		観光型ホテル （商品企画担当）	販売量の動き	・客室稼働率の前年同月比較では12月がマイナス2.2ポイント、1月がプラス1.2ポイント、2月がプラス7.5ポイントと、見込みで上昇傾向にある。
変わらない	スーパー（企画担当）	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・本年度はうるう年で営業日数が一日多くその分、前年比で売上はクリアしているが、一日差し引いた分を考慮すると、ほぼ前年並みと特に変わっていない。
		衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・冬物から春物に変わっているが、販売量は特に変わらない。
	家電量販店（副店長）	単価の動き	・依然として客は価格が安くても不要な商品を購入することはなく、またチラシ商品に関しても慎重であり、平均単価も低下傾向が続いている。	
	やや悪く なっている	一般小売店 〔鞆・袋物〕（経営者）	来客数の動き	・観光客の恩恵を被っていない商店街は、相変わらず厳しい状況が続いており、イベントを実施しても以前のような集客はない。
		コンビニ（経営者）	単価の動き	・客単価は下げ止まったと思われたが、依然として下落が続いており、今月は前月比で2ポイント程マイナス、前年同月比でも2ポイントマイナスとなっている。来客数は1.2ポイントプラスとなったものの、客単価が1.2ポイントマイナスとなっていることから、総合的にはやや悪くなっている。
悪く なっている	その他専門店 〔書籍〕（店長）	販売量の動き	・春に向け、新刊本が多数出てきてはいるが、その中で売れているのはほんの一部であり、客の買い控えがみられる。	
	観光型ホテル （営業担当）	販売量の動き	・3か月前は販売計画よりも好調に推移したのだが、当月はほぼ計画値に止まりそうである。	
	観光名所（職員）	来客数の動き	・3か月前の来客数は、前年同月比で15%ほど増加したのだが、当月は21日現在で9.8%ほどで伸び率が低くなっている。	
企業 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	建設業（経営者）	競争相手の様子	・他社では、当社と違い低価格商品が売れているようである。
	変わらない	通信業（従業員）	取引先の様子	・取引先など関係各社に目立った動きはない。
通信業（営業担当）		受注価格や販売価格の動き	・引き合い案件は一定水準を維持しているが、廉価版サービスへの移行傾向も相変わらず続いている。	

	やや悪くなっている	輸送業（総務担当）	取引先の様子	・ B S E 等の問題により県内の物量が減少しており、それにかかる付属的な仕入れ等の荷も減少しているとの報告を受けている。
		不動産業（支店長）	受注量や販売量の動き	・ 買いの問い合わせや、売買契約が減っている。
	悪くなっている	-	-	-
雇用 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている			
	変わらない	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・ 例年では一時的な依頼が増える時期なのだが、今年はまだその動きがみられず、この先も増えるかどうか不明であることから、状況としては変わらない。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・ 新規求人数は県外勤務の請負業務関係等求人を中心に情報処理サービス業関連、介護関連及び保育業等からの求人数増があるものの、全体では3,035人と前年度に比べてやや低下している。 ・ 3か月前と比較すると産業別には運輸・通信業で増加したものの、建設業、製造業、卸売・小売業・飲食業、金融・保険業、サービス業で減少となっている。 ・ 有効求人倍率は0.42倍で、3か月前より0.01ポイント下回っている。
	やや悪くなっている	学校〔専門学校〕（就職担当）	求人数の動き	・ 全体的に求人数が減少傾向にあり、特にIT関連や事務系の求人が減少している。
	悪くなっている	-	-	-